



平塚市自然環境評価書（総合評価編）

～西部丘陵地域の自然～



平成 18 年 3 月

 平塚市

はじめに

この自然環境評価書は、平塚市の土屋、吉沢地区を中心とする西部丘陵地域の自然環境実態調査の結果を評価したものです。貴重な自然環境を市民共有の財産として、次世代に引き継ぐ施策を推進する上での参考資料になると考えています。

本書をまとめるにあたり、2箇年にわたって様々な角度から調査を重ねてきました。平成16年度は、西部丘陵地域の生物の多様性や生息環境など動植物の生態、続いて平成17年度は、景観・人とのふれあいや、長い歴史の中で地域住民によって伝承されてきた人文的な資源など、「人とのかかわりの深さ」から調査いたしました。

このたび、これらを総合的に評価した本書を刊行することで、各地域の特色が抽出され、西部丘陵地域の自然の奥深さをはっきりとお示しできたと思います。見渡す限り広がる田畑や大空を優雅に舞うオオタカなど、人と自然とが調和した自然環境が本市に息づいていることを、一人でも多くの皆様が興味を持ち、その素晴らしさに接していただきたいと願っております。

近年、田畑や雑木林といった里山のような自然資源が荒廃し、次第に減少しつつあります。そこで、それらが現存する西部丘陵地域の自然環境をできる限り活かしていくためには、私たちは今何をすべきか、真剣に考えなければなりません。私は、本書が、本市の将来を見据えたまちづくりについて考える一助となり、皆様に広く活用していただけるよう期待しております。

最後になりましたが、今回の調査に協力してくださった多くの関係者の皆様に対し、厚く御礼申し上げます。



平成18年3月

平塚市長 大藏律子

平塚市自然環境評価書（総合評価編）

～ 目 次 ～

はじめに

1. 自然環境評価の概要	3	6. 人とのかかわり調査の結果	35
1.1 発刊の目的	3	6.1 景観	35
1.2 神奈川県の中の平塚市	3	6.2 人とのふれあい	41
1.3 平塚市の緑の状況と 調査地域	4	6.3 人文	45
1.4 調査地域の概況	5	7. 人とのかかわりの評価	51
2. 生物編評価の概要	7	7.1 評価の流れ	51
2.1 評価の軸	7	7.2 評価の結果	55
2.2 評価の地区区分	7	7.3 各地区の評価と評点 (集計表)	61
2.3 生物編の調査内容と結果	8	8. 総合評価	69
2.4 地区別の概要	13	8.1 評価の統合	69
2.5 評価方法	15	8.2 評価の結果	70
2.6 自然評価の結果	19	8.3 まとめ	73
3. 総合評価の方針	23	資料編 各地区の調査結果の詳細 (地区別カルテ)	75
3.1 総合評価の視点	23	参考・引用文献	
3.2 評価の軸	24	謝 辞	
3.3 総合評価に 携わった人びと	25		
4. 調査地域の区分	27		
5. 人とのかかわり調査内容	31		
5.1 景観	31		
5.2 人とのふれあい	33		
5.3 人文	33		

